

林家 花丸 はやしや はなまる



昭和40年生まれ、兵庫県出身

平成3年に四代目林家染丸に入門、林家の中でも由緒ある花丸の名跡を名乗る。滑噺では上方屈指の爆笑派、また、聞きごたえのある人情噺の評価も高い。

平成26年には文化庁芸術祭優秀賞をはじめ、一気に三冠を受賞するなど、独自の感性を活かしたその高座が注目されている。

落語の上演もすることを条件に各種講演会の講師も引き受けている。上方落語協会理事。

<受賞歴>

1999年 産経新聞社主催 なにわ芸術祭 新進落語家競演会 新人賞

1999年 大阪府知事賞、大阪市長賞

2010年 繁昌亭爆笑賞

2014年 繁昌亭大賞、文化庁芸術祭優秀賞、大阪文化祭奨励賞 受賞

<出演番組>

NHK 日本の話芸、上方落語の会

MBS らくごのお時間

読売テレビ 平成紅梅亭

関西テレビ 扇町寄席 ほか多数

キタノ 大地 きたの だいち

華麗な技と巧みなトークで関西マジック界に旋風を巻き起こす。

1993年国際マジック大会入賞後、ホテル、劇場、寄席、テレビ、

CM出演などで活躍。また文化庁無形文化財となっている日本の伝統的な

古典奇術『和妻（わずま）』を演じることが出来る数少ないマジシャン。

マジックの技術性や演出力などその腕前もさることながら人望厚く関西芸能

親和会副会長、公益社団法人日本奇術協会関西支部事務局長、日本赤十字

大阪芸能奉仕団の副団長。また宝塚歌劇団のマジック指導、監修も行う。



笑福亭 たま しょうふくてい たま

1975年生まれ、貝塚市出身。京都大学経済学部出身。

1998年笑福亭福笑に入門。笑いが起きる仕組み、発想、構成の手法をハイスピードでつかみ、独自の世界観に活かして自作の新作、古典の両方の落語で大きな成果をあげている。

<受賞歴>

2003年 大阪舞台芸術新人賞

2004年 文化庁芸術祭新人賞

2010年 咲くやこの花賞

2017年 国立演芸場花形演芸会大賞

2021年 繁昌亭大賞

ほか

林家 勘左 はやしや かんざ

2023年林家染左に入門。宝塚市出身。

今年師匠のもとで年期修業が明けて一人立ち。

自身、意気揚々としてこれからの活動に気合いが入っている。

母親がプロのフルート奏者で本人も3歳から10年間チェロを習い演奏するなど幼い頃から音楽の英才教育を受ける。

最近では珍しくティーンで入門した彼がその音感を生かしてどのような噺家に成長するか周囲も楽しみにしている。

